

高次脳機能障がい

スポーツや交通事故での怪我や、脳梗塞などの病気により、脳に損傷を負うことで下記のような症状が起こることがあります。これらをまとめて高次脳機能障がいと呼びます。身体的な症状がない場合は外見では分かりづらく、本人も自覚が難しいと言われています。

特徴

記憶障がい

すぐに忘れてしまうため、何度も同じことを質問するようになった
新しいことを覚えられなくなった
大事なものの置き場所を忘れるようになった



注意障がい

ボーっとしていることが多くなった
集中力が低下し、ミスが多くなった
複数のことを同時に行くと混乱するようになった

遂行機能障がい

計画を立てて実行することが出来なくなった(指示が必要になった)
物事の優先順位がつけづらくなった



社会的行動障がい

意欲がわかなくなった(元気が出なくなった)
こだわりが強くなったり、後先のことを考えずに行動してしまうことが増えた
興奮したり、思い通りにならないと大声を出すなど、感情をコントロールしづらくなった

自分の場合…

親しい友達が障がいのことを調べて理解しようとしてくれた。
例えば、自分の場合はお酒を飲むとパニックが強くなる。
でも気を遣って飲み会に誘わないんじゃなくて、誘ってくれて、
彼らは飲むけど、自分は飲まなくてもいいよってさりげなく気遣ってくれる。
それが嬉しかった。

家族の場合…

急に「こういう障がいです」と言われ、本人は受け入れられなかったと思う。
家族もどうしたらいいか分からず、家族会に出たり色々勉強したりもした。
でも本人が前に進めたのはやっぱりそばにいてくれた友達のおかげだと思う。
家族だけだと乗り越えられなかったんじゃないかな。